

【進行の手引き】（演習①）

③ 不登校を考える「学校に行きたくないってどんな気持ち？」

【ねらい】

自分の学生時代も思い出しながら、学校に行きたくない子どもの気持ちを考え、悩んでいる子どもに寄り添う言葉かけや関わり方を考える。

	主な活動	発 言	留意点
導 入 15 分	ファシリテーター ①		
	1. アイスブレイク ・グループ分け ・自己紹介	※アイスブレイクの例参照 (サイコロトーク)	○1 グループ4人程度のグループをつくる。
	2. テーマ、学習の ねらいの確認	○本日のテーマと学習のねらいを確認する。	
	子どもたちが学校に行きたくない時の気持ちや表現の仕方は様々です。もし、わが子や関わっている子どもが「学校に行きたくない」と悩んでいたら、どんな言葉をかけたらいいかと悩むところです。今日は、自分の学生時代を思い出しながら、子どもに寄り添う言葉かけや関わり方について一緒に考えてみましょう。		
展 開	3. 語り合いの約束	○語り合いの「3つの約束」について説明する。 ①積極的に参加しましょう。(参加) ・話し合いに積極的に参加しましょう。 もちろん、内容によっては「話さない」「パス」という選択もあります。発言を無理に求めないようにしましょう。 ②一人ひとりの考えを尊重しましょう。(尊重) 参加者みなさんの考えや思いをしっかり聴きましょう。みなさんが安心して話ができるように批判や否定をしないようにしましょう。 ③参加者の個人的な情報は守りましょう。(守秘) 今日の講座の中で聴いたことは、この場だけのこととして、他の所では話さないことをお願いします。	○みんなが安心して語り合えるように、この3つの約束を守っていただくように促す。
	ファシリテーター ②		
展 開	4. ワーク① (10分)	○学校に行きたくない理由を想像し、少しでも可能性があると思ったものを書き出してみましょう。 ○では、みなさんの意見を交流しましょう。	○いくつか例を示す。 ・友だちとケンカした。 ・勉強がわからない。 ・苦手な行事がある。 ○学校に行きたくない時は、理由がいくつも重なっていることが多いことを補足する。

展 開 35 分	5. ワーク② (10 分)	○自分自身が子どもの頃、「学校に行きたくない」と思ったことを思い出し、その時、学校へ通った原動力は何だったか記入しましょう。 ○では、みなさんのエピソードを交流しましょう。	○ワーク①を参考にしながら振り返る。
	ファシリテーター ③		
	6. ワーク③ (15 分)	○わが子や関わっている子どもが「学校に行きたくない」と悩んだ時にあなたはどのように関わりますか。関わり方を書きましょう。 ○では、みなさんの意見を交流しましょう。	○子どもの気持ちに寄り添うには、自分自身の経験を生かすことも1つの方法である。
ま と め 10 分	ファシリテーター ④		
	7. ふりかえり	○本日の講座をふりかえり、気づいたことや思ったこと、参考にしたいことや今後生かせそうなこと等をワークシートに書き、交流しましょう。	○各グループでふりかえる。
	8. 全体交流	○どのような意見が出てきましたか。グループで出た意見を交流しましょう。	○時間に応じて、全グループか抽出グループに発表していただく。
	「学校に行きたくない」という気持ちは、特別なものではありません。「もしかしたら」の気持ちで見ると、悩んだり、堪えたりしている子どもの姿があるかもしれません。保護者や関わっておられる方の気づきと温かな言葉の積み重ねで、子どもの気持ちを日常の中でほぐしていけるといいですね。		